

平成31年3月8日

鹿屋市薬剤師会
会員各位

鹿屋市薬剤師会会長 田中 宏之
学術研修委員会 原田 周作

大塚ヘルシーエイジングサポーター 養成プログラム
第4期プライマリーコース開講のご案内

謹啓 先生方におかれましては益々ご健勝のことと存じ上げます。

さて大塚製薬（株）様より案内がありました、大塚ヘルシーエイジングサポーター養成プログラムなのですが、今回鹿屋で開催されることが決まりました。講師は女性の健康支援をライフワークにされておられる宮原富士子先生です。貴重なお話を間近で聴けるまたとない機会かと思えます。各先生方お忙しいこととは存じますが万障繰り合わせの上、ご出席くださいますようご案内申し上げます。

記

- ・日時 平成31年4月7日（日） 午前10時より
- ・場所 富田薬品株式会社 鹿屋支店（鹿屋市西祓川町892-5）
- ・内容 添付ファイルをご参照頂きますようお願いいたします。
- ・問い合わせ先 原田 周作（おおうら薬局 TEL 45-5236）

*講義が3回に分けて行われますが、各講義につき認定薬剤師研修受講シールが1単位ずつ発行されます。

*定員が40名となっており先着順となっております。事前申し込みが必要になりますので、添付ファイルを参照されて、WEB上にて申し込みをお願いいたします。

第4期プライマリーコース開講のご案内

第1回から第3回の全3回を1日で受講できます

OATHAS プライマリーコースは、
「女性のための健康」に特化したプログラムで、
女性の健康サポーターとしての
基本的知識を習得できます。
皆様のご参加を心よりお待ちしております。



2019年4月7日(日)

第1期、第2期、第3期で受講できなかった回だけの受講も可能です。

第1回 10:00～11:30

第2回 12:10～13:40

第3回 14:00～15:30

会場：富田薬品株式会社 鹿屋支店 (鹿屋市西祓川町892-5)

※昼食(弁当)の準備はありませんのでご持参頂けます様お願いいたします。(弊社製品サンプルはご準備しております。)



こんな方々
におすすめです

- 女性のための健康サポートに興味がある
- 健康や食品についてのカウンセリングができるようになりたい
- 健康サポート薬局を目指したい など

概要

- 原則として薬剤師を対象としています。医療従事者は受講可能です。
- このプログラムはNPO法人HAP[®]の協力を得て実施します。
- 講義はライブ中継による集合研修です。
- 出席者は、認定薬剤師研修受講シール(1単位)が取得できます。
- 受講に際して、費用は一切かかりません。

※NPO法人HAP(Healthy Aging Projects for women)は、国が認める健康サポート薬局研究実施機関です。

全3回出席された方には『女性の健康サポーター』修了証をお渡しします。

申込方法：OATHASホームページwww.oathas.jpからお申し込みください。

定員：40名(先着順)

OATHAS

検索

QRコード



講師および各回の内容につきましては裏面をご覧ください。

第4期プライマリーコース

講師 宮原 富士子先生 (NPO法人HAP)

第1回

10:00~11:30

かかりつけ薬剤師として
女性の健康を
サポートするための基礎情報

- ① かかりつけ薬剤師・健康サポート薬局とは(薬機法における制度の重要性)
- ② かかりつけ薬剤師・健康サポート薬局に期待される“女性の健康支援”
- ③ 女性のライフステージごとの健康課題・女性ホルモンとの関わり

第2回

12:10~13:40

初歩から学ぶ
“女性への生活習慣アドバイス”
(食習慣・運動習慣等)

- ① 女性に伝えたい女性に多い疾患、検診、“セルフモニタリングとセルフケア”
- ② 食習慣の傾向のアセスメントとアドバイス(BDHQ実習)
- ③ 運動習慣についての具体的なアドバイス(ロコモ25、骨盤底筋体操)

第3回

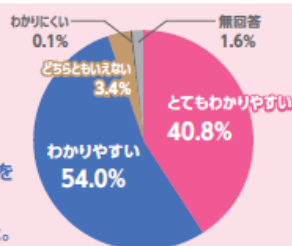
14:00~15:30

女性の健康に関係する
健康食品や医薬品に
ついての話題

- ① 女性ホルモンに関わる医療用医薬品、OTCについて(ピル、HRT含む)
- ② 女性を対象としたOTC医薬品、健康食品
- ③ 女性のためのおくすり手帳、月経記録、基礎体温

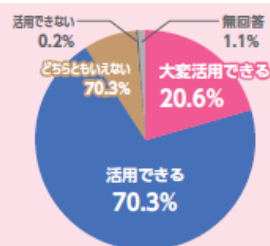
Q 講義内容は
いかがでしたか?

94.8%の参加者が講義内容を
「とてもわかりやすい」
「わかりやすい」と回答しました。



Q 業務に活用
できそうですか?

90.9%の参加者が業務に
「大変活用できる」
「活用できる」と回答しました。



OATHAS第2期プライマリーコースアンケート(n=3,556)より

受講者の声

- 実践的な方法(食事・運動)を教えてくださいました。
- 回を重ねて受講するたびに新しい発見ができて楽しく参加しています。
- 具体的に患者さんにどうお話をすれば良いかがわかり取組みへのハードルが下がりました。
- サプリメントやセルフチェックキットを活用するセルフメディケーションに関する指導方法、アイデアを得る事ができました。
- とても勉強になりました。ありがとうございました。即実践していきたいと思います。

OATHAS

Osaka Advanced
Training for
Healthcare
Professionals

www.oathas.jp
ask@oathas.jp

宮原富士子 みやはらふじこ

株式会社ジェンダーメディカルリサーチ代表取締役社長／ 女性の健康支援 NPO 法人 Healthy Aging Projects for Women(HAP) 事務局長／ NPO 法人 Women's Health Forum21 副理事長／ 日本更年期医学会評議員 日本骨粗鬆症学会評議委員



生涯にわたる女性の健康支援の正しい知識の普及をライフワークとして取り組んでいます。難しい医療の話をわかりやすく解説するのが得意です。女子力アップ講座から更年期生き生き講座から介護情報まで、医師へのかかり方なども含めて幅広く対応できます。地域行政での招聘講座得意も可能。

専門分野

女性医療／更年期医療 性差関連情報 医薬品の適正使用 受胎調節【ピル】領域

略歴

1974 年 桜蔭中学卒業

1977 年 桜蔭高等学校卒業

1981 年 東京薬科大学卒業

日本チバガイギー株式会社(現ノバルティスファーマ)女性 MR 一期生として入社

1985 年 同上 臨床開発部クリニカルモニター

1989 年 同上 東海北陸中部学術マネージャー

1999 年 ノバルティスファーマ エストラダーム TTS プロダクトマネージャー

2000 年 同上 退社

2001 年 株式会社ジェンダーメディカルリサーチ設立

千葉県健康福祉部健康増進課嘱託(2009 年終了)

現在に至る

・主な講演テーマ

「40 代からの女性の心とからだの健康 よくわかる更年期のお話」

女性の更年期に起きる様々な心とからだの変化についての正しい知識と過ごし方のコツを学ぶ講座
(食習慣アセスメントも同時に行う)

「思春期を迎える子供をもつ保護者のための心構え講座」

思春期を迎える子供をもつ保護者(主に小学校中高学年児童の両親)向けに、現在の思春期世代の若者がもつリスクについて適正な情報を伝え、身を守る大切さと家庭教育での留意点についてお話を
する。

「月経教室 女子力アップのための女の子講座」

知っていそうで習っていない月経マネジメントや基礎体温測定習慣について正しい知識を身につける
実践講座。受胎調節から性病予防までいろいろ盛りだくさん。

「自分の味方になる薬局とかかりつけ薬剤師をゲットして、快適生活を送るための情報講座」

処方箋をもってゆく薬局選びは、生涯にわたる家族の健康管理にとっても重要なファクターになります。
思春期の相談から更年期そして介護まで一括で情報をゲットできる薬局の薬剤師と医師へのかかり方
や医師へ上手にかかれるコツを身につけましょう。

「生涯にわたる女性の健康支援 保健医療者がすべきこと」

生涯にわたる女性の健康支援に保健医療者、各保健医療機関は何をすべきか。千葉県嘱託8年の経
験を元に解説いたします。

「男の更年期 女の更年期」

男と女が互いのエイジングや性差について正しく理解し、男女ともにわかりあいながら歳を重ねてゆく
ための情報提供講座です。

講演実績

【講演実績】

- ・「The Vivid」The Vivid／久光製薬株式会社
- ・「Meet The HAP 八王子」NPO 法人 HAP
- ・「Meet The HAP お茶の水」NPO 法人 HAP
- ・「浅草寺子屋塾 女性の健康講座」Meet The HAP
- ・「メディカル・コメディカル合同シンポジウム 2」
- ・東京薬科大学実務実習センター NPO 法人 HAP
- ・「助産師会主催 受胎調節指導員講座」
- ・「ほのぼのの集い」
- ・「PH-Cafe No.4」
- ・「薬物防止教育講座(思春期に考えたい健康課題)」
- ・「女性の健康寿命を支援する MWG」
- ・「思春期を迎えるこどもをもつ保護者のための心の準備講座」
- ・「第 32 回『The Vivid』10 周年記念 公開講座」
- ・「HAP3rd Meet The HAP Meeting」
- ・「男女共同参画啓発セミナー」他多数

【執筆】

- ・「更年期女性、社会が求めるヘルスケア 産婦人科治療」
- ・「時代のニーズから生まれたウイメンズクリニックの歩み」(共同執筆)
- ・「薬局カウンタで実践可能な痛みへのケア 女性の健康支援をふまえた“からだの痛み、心の痛みと QOL への対応”」
- ・「一般女性の健康認識調査から学ぶ女性の医療ニーズ」(共同執筆)

【学会発表】

- ・「薬局における更年期女性対象の栄養教育・栄養指導・医療者連携の現状と展望 薬剤師の視点から」第 23 回日本更年期医学会(2008 年 11 月)
- ・教育講演「本学会会員による研究発表の足跡を検証する ―学術集会プログラムから―」第 22 回日本更年期医学会
- ・「女性医療サービスの今後のあり方に関する研究報告」(厚生労働科学特別研究事業)第 22 回日本更年期医学会(2007 年)
- ・「街の更年期女性が更年期医療に望むもの」2006 年日本更年期医学会
- ・「千葉県における女性医師による『女性専用外来』『保健所女性健康相談』の実態調査の中間報告」第 19 回大会(2004 年 10 月)

- ・「薬剤師が行う更年期女性対象ヘルスプロモーション」に関する医師側の認識実態調査 第 19 回大会(2004 年 10 月)
- ・「薬剤師が行なう更年期女性対象ヘルスプロモーション」に関する薬剤師の認識実態調査 第 19 回大会(2004 年 10 月)
- ・「骨密度測定と栄養アセスメントおよびミニレクチャーをシステムとした骨の健康キャンペーンの実施効果と課題」第 19 回大会(2004 年 10 月)
- ・「ベトナムの更年期女性の健康に関する認識調査報告 第 18 回大会(2003 年)
- ・「千葉県における女性医師による『女性専用外来』『保健所女性健康相談』の実態調査の中間報告」第 18 回大会(2003 年)
- ・「一般女性の健康認識調査(1)(2)(3)」第 17 回大会(2002 年)

【その他実績】

地域の保健所において、毎年女性の健康講座を開催。